

緊急対策の記録

1月17日(火)

本部の動向	7:00 災害対策本部設置 (阪神、東播磨、淡路各地方本部を設置) 8:30 第1回災害対策本部会議を開催 被害状況の把握と各部の迅速な対応を指示
	以後、断続的に本部会議を開催。地域防災計画(災害対策応急計画)に基づき、緊急対策を実施。 (1) 人命救助に最大の努力を指示 (2) 水、食糧、毛布等の確保(3日間の食糧等) (3) 生活物資の確保及び輸送体制の確立 (4) 医療体制の確保(医師等の確保、救護班の要請等) (5) 仮設住宅の検討、公営住宅等の確保 (6) 輸送ルートの確保、輸送体制の確立 (7) ライフラインの復旧体制の確立 (8) 建築物の安全チェック (9) 国への緊急要望、関係機関・業界への要請 <特記事項> 10:00 陸上自衛隊第3特科連隊へ派遣を要請 消防広域応援を要請 12:15 災害対策本部長(知事)が記者クラブ訪問、協力を要請 18:15 小澤国土庁長官に緊急要望 20:30 マスコミに県民への呼びかけを発表 * 災害救助法の適用について、厚生省と折衝。12時以降、順次指定(6市5町)。 12:00 神戸市 17:00 津名町、淡路町、北淡町、一宮町、東浦町 23:00 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市

緊急対策	概 要	実 施 部
動 員	3号配備体制を敷き、緊急対応実施体制を確保 - 被災市町が消防職員・団員を総動員して対応 - 他府県の消防職員の応援要請 - 災害警備本部の設置 県下各警察署の署長等招集、他府県警察への応援要請、警察官13,000人が出動、	緊急救援活動部 (各 部) 緊急救援活動部 (警察本部)

緊急対策	概 要	実 施 部
動 員	・ 陸上自衛隊第3特科連隊と連絡がとれ、情報交換及び援助を依頼 ・ 陸上自衛隊第3特科連隊へ派遣を要請(10:00) 陸上自衛隊第3師団 3,300人が人命救助等のため出動 陸上自衛隊ヘリ57機が偵察、人員輸送、緊急患者輸送等のため出動 ・ 海上自衛隊護衛艦・輸送艦15隻が呉、横須賀から出港、小松島航空隊から偵察機が出動	
情 報 (収 集) (連 絡) (広 報)	・ 震源の位置(北緯34度 6分、東経 135度)、規模(M7.2、地下20km)、震度(神戸、洲本6、京都、彦根5)等の情報収集 ・ 津波情報の収集(津波の恐れはなし) ・ 余震情報(気象庁、専門家の意見等)の収集 ・ 警察、市町等からの情報収集 ・ 電気、ガス、水道、下水道事業者、金融機関、阪神高速道路公団等からの情報入手 ・ 電話は回線の輻輳等により、円滑な通話が困難 ・ 消防防災無線は停電後、作動せず、その後修理、回復 ・ 電力供給が停止したため、10:23~12:05の間、兵庫衛星通信ネットワークの県庁局の受発信機能停止 ・ 記者発表(12時15分~) 報道協力要請等 ・ 資料配布(20時30分) 知事からの被災者、一般県民向け周知事項の説明 余震についての留意事項 <被害状況 — 23:45 現在把握分 — > 死者 1,584 人 負傷者 4,314 人 行方不明 1,017 人 家屋倒壊 7,146 戸	情 報 対 策 部 (各 部) (知 事 公 室)
救 援 活 動	・ 行方不明者の搜索活動開始 ・ 被災者の救出、救助活動開始 ・ 建設業界に重機等の支援を要請 ・ 遺体の収容及び検視活動開始 ・ 夜間パトロール隊の編成、活動	緊急救援活動部 (警 察 本 部)

緊急対策	概 要	実 施 部
食 糧 供 給	・ 避難者数と避難食の必要量を確認 ・ 学校給食センター、給食業者に非常食の製造確保を依頼 ・ 神戸市、芦屋市、伊丹市等に対し、おにぎり35,000食、パン25,000食を搬入	緊急物資対策部 (農林水産部)
物 資 調 達	・ 毛布65,000枚確保(県の備蓄及び大阪府からの支援20,000枚等) 淡路へ 3,000枚、阪神各市へ17,000枚搬送、必要量の確保に見通し ・ 量販店に生活必需物資の安定供給を要請 ・ 大規模小売店等の営業状況の確認、生活物資の安定供給を要請 625 店のうち217 店 (34.7%) が営業 ・ テント、スコップ、軍手、長靴等を警察本部に送付	緊急物資対策部 (生活文化部) (商 工 部)
ライフライン (電気、水道 ガス、電話)	・ 100 万戸停電、24時間体制で復旧努力 ・ ガスが84万5 千戸で供給停止 ・ 電話285,000 回線が交換機故障、バックアップ電源断のため不通、復旧開始 ・ 市町の断水状況把握 (127万戸で断水発生) ・ 自衛隊、大阪府、京都府、奈良県、大阪市等に給水車支援を要請 ・ 自衛隊、海上保安庁、大阪府、京都府、県内各市町等が神戸、阪神各市で緊急給水を開始	緊急ライフライン 対策部 (商工部) (保健環境部、 企業庁)
住 宅	・ 仮設住宅の検討 ・ 県営住宅の空き家 550戸を被災市に配分 ・ 他府県に公営住宅の空き家の提供要請 (公営住宅空き家 1,300戸)	緊急住宅対策部 (都市住宅部)
生 活 救 援	・ 社会福祉施設の被害状況の調査を開始 ・ 社会福祉施設入所者、施設職員の安否確認	緊急生活救援部 (福 祉 部)
健 康 ・ 医 療	・ 被災地の医療機関、薬局の概況把握 ・ 神戸市近郊の受入れ可能病院、病床の確保を開始 (県立病院53床など) ・ 日赤や県医師会等に救援依頼 ・ 大阪府、日赤、県立病院が神戸市等に救護班を派遣 ・ 全県立病院の24時間救急体制を確保 ・ 厚生省を通じ、近隣府県並びに業者に医薬品等の支援依頼	緊急保健医療対策 部 (保健環境部)

緊急対策	概 要	実 施 部
ごみ・し尿	・ 被災地の廃棄物処理施設の概況把握	緊急ごみ・し尿対策部（保健環境部）
教 育	・ 市町等からの避難場所の提供等の依頼に対する協力 （県立高校での避難者受入れ 11校、10,051人）	緊急教育対策部（教育委員会）
交通・輸送	・ 道路交通障害箇所の把握 ・ 管内各空港、ヘリポートの被災状況を確認 （神戸ヘリポートは被災したが使用可） ・ 自衛隊に協力要請を行い、ヘリ・トラック輸送を確保 ・ 県トラック協会に物資輸送トラックの配車要請 ・ 鉄軌道の被災状況、運行状況及び復旧見込みの把握(以降毎日) ・ 路線バスの運行状況の把握（以降毎日） ・ 山陽自動車道西行姫路東以西、姫路バイパス（姫路西～中地） 新神戸トンネル、山麓バイパス、六甲北有料道路等通行止解除 ・ JR東海道線大阪以东、能勢電鉄全線運転再開 ・ 道路、港湾の応急復旧（以降毎日） ・ 交通整理、交通情報の広報、緊急輸送の誘導等開始	緊急輸送対策部（土木部） （県警本部）
余震対策	・ 高圧ガス関係事業所への指導、調査 ・ 農地、林地、漁港の被害箇所調査 ・ 3号配備体制の周知徹底、連絡体制の整備 ・ 被災箇所、被害額の定例報告（市町→土木事務所→本庁）、現地調査の実施 ・ 河川、砂防、道路、港湾等の公共土木施設の応急復旧（以降毎日）	（商工部） （農林水産部） （土木部）
庁内対策	・ 執務体制の確保 電気の復旧 11:20 第3号館、11:50 第1・2号館西館、20:30 公館 電話の復旧 16:45 庁議室に非常用電話を増設、17:05 代表電話復旧 エレベーターの復旧 18:40 3号館5号機稼働、18:30 2号館10号機稼働 トイレの復旧 16:10 1号館井水に切り替え	庁内対策部（総務部）
来県者等	・ 小沢国土庁長官（政府調査団団長）、野坂建設大臣ほか20名来県（18:15 県庁へ、知事等が状況説明と緊急対策について要望）	緊急渉外対策部

1月18日(水)

本部の動向	0:00に、災害対策本部会議を開催、以後、4:00、5:00、12:00、18:00 の4回にわたり、本部会議開催 (1) 行方不明者、負傷者の救助対策、消火対策の状況 (2) 各部別緊急対策と進捗状況の確認 (3) 被災市町からの要望事項の確認 (4) 国、関係機関への要望事項の確認 (5) 緊急輸送ルートの確保、指示 (6) ヘリ輸送体制確立の指示 (7) LPガス漏れ対策検討の指示 (8) 義援金の募集方法と手続きの検討 (9) 災害対策総合本部の改組 緊急対策本部と災害復旧対策本部の2本部13対策部体制を確立
	緊急対策本部 …… 情報対策部、緊急渉外対策部、緊急救援活動部、緊急物資対策部、応急住宅部、緊急医療福祉対策部、緊急輸送対策部 災害復旧対策本部 …… ライフライン部、輸送対策部、商工業対策部、庁内対策部、廃棄物対策部、施設応急対策部 <特記事項> 5:40 本部長(知事)緊急呼びかけ(NHK) 被害状況、対応状況、余震対策等 6:20 本部長(知事)緊急記者会見 災害復旧への取組み、ライフライン、仮設住宅、今後の見通し等 * 小沢国土庁長官、野中自治大臣等が現地視察。 知事、副知事が被災状況の説明と緊急対策を要望。 * 全国知事会地震対策特別委員会を開催。都道府県協力本部を設置。 * 災害救助法指定市町 7市5町 (2:00川西市追加)

緊急対策	概 要	実 施 部
動 員	- 陸上自衛隊が9,000人に増強 - 海上自衛隊の護衛艦、輸送艦で925人が到着	

緊急対策	概 要	実 施 部
情 報 (広 報)	5:40 本部長（知事）から被害状況、対応状況、余震対策等について、県民に呼びかけ（NHK） 県警察本部長、自衛隊代表同席 6:20 知事緊急記者会見 災害復旧への取り組み、ライフライン、仮設住宅、今後の見通し等 15:00 ラジオ関西知事インタビュー 記者発表（ 15:30 21:00 22:00 ） 〈被害状況 — 15:45 現在把握分 — 〉 ・ 死者 2,214 人 ・ 負傷者 10,779人 ・ 行方不明者 1,082 人 ・ 家屋倒壊 10,937戸	情 報 対 策 部 (生活文化部) 情 報 対 策 部 (知事公室)
救 援 活 動	・ 行方不明者相談所を設置し、対応を開始 ・ 海上自衛隊の補給艦、輸送艦、ヘリ等による給水、緊急物資輸送等を開始	緊急救援活動部 (警 察 本 部)
食 糧 供 給	・ ここ1両日の対策として、食糧庁に災害用米穀3,000 精米ト(1,500万食)、大阪食糧事務所に乾パン45,000食、広島、愛知食糧事務所に乾パン60,000食を要請、 ・ 自衛隊に非常食44,000食の確保、炊飯車40台（1万食）の出動を要請 ・ おにぎり 148,000 食、牛乳、パン等を搬出 ・ 農林水産省からの要請を受け、食品企業からパン25万食を供給（～28日まで各日25万食）	緊急物資対策部 (農林水産部)
物 資 調 達	・ 県消防学校基地に物資の備蓄を開始 ・ 毛布71,500枚を確保 ・ チェーンストア協会に対して生活必需物資の安定供給を要請 ・ 神戸、尼崎、芦屋、西宮のガソリンスタンドの営業状況等を調査（営業率14%）、軽油の緊急供給を手配 ・ 災害救助用物資34品目についての供給体制を調査	緊急物資対策部 (生活文化部) (商 工 部)
ライフライン (電気・水道 ガス・電話)	・ 電気について約64万戸復旧 ・ 電話の交換機故障、バックアップ電源断による故障は回復、加入者線切断の被害状況把握中 ・ 県職員を断水市町に派遣、厚生省生活衛生局と協議	緊急ライフライン 対策部(商工部) (保健環境部) (企業庁)

緊急対策	概 要	実 施 部
生 活 救 援	・ 外国人県民被災状況調査（以降毎日） ・ 緊急生活福祉資金の資金需要について調査開始 ・ 高齢者、障害者、社会福祉施設入居者、生活保護の弾力的な対応等について、厚生省と協議を開始 ・ 健康保険証不携帯でも保健診療受診の決定、発表 ・ 社会福祉施設間での被災施設の支援を依頼	国 際 対 策 部 （ 知 事 公 室 ） 緊急救援対策部 （ 福 祉 部 ）
健 康 ・ 医 療	・ 県医師会が対策本部を設置 ・ 厚生省に各都道府県・市への協力要請及び派遣の側面援助を依頼、各府県から派遣に応じる申し出 ・ 日赤が救護班196 人を増派 ・ 被災地域の精神病院の被災状況の把握 ・ 近隣府県への火葬受入れ要請等、火葬受入れ体制の確保 ・ 管内医療機関に2207本の血液を供給 ・ 工場等における被害状況等についての電話調査を実施（～21日） ・ 被災市町の防疫薬剤の必要数量を調査、厚生省を通じて防疫薬剤、噴霧器の提供を要請	緊急保健医療対策部（保健環境部）
ごみ・し尿	・ 厚生省を通じて、近隣府県にごみ・し尿対策の協力を依頼 ・ 神戸市の火災残さ物は、淡河・布施畑処分場での処分が決定 ・ 被災地以外の県下 8 市町で、し尿処理施設を確保 ・ バキュームカー32台、仮設トイレ1,000 基を確保	緊急ごみ・し尿対策部（保健環境部）
教 育	・ 児童生徒の死亡数等の被害状況調査を開始 ・ 休校数 県立学校 63校 市町立小学校320 校、中学校146 校、 高校・盲学校等33校 計562 校 ・ 日本育英会本部に特別支援措置を依頼	緊急教育対策部（教育委員会）
交 通 ・ 輸 送	・ 県、各市に対する物資輸送トラックの配車希望調査 ・ 物資の緊急輸送について、関西国際空港、大阪空港、運輸省大阪航空局と調整 ・ 通過交通対策ルートの応急復旧工事の実施 ・ J R 東海道線大阪～尼崎、山陽線西明石以西、阪急電鉄神戸線梅田～西宮北口、阪神電鉄本線梅田～甲子園、山陽電鉄姫路～明石、神戸市営地下鉄西神中央～板宿等が復旧 ・ 阪急電鉄伊丹～新伊丹間の代替バスを運行開始	緊急輸送対策部（土 木 部）

緊急対策	概 要	実 施 部
	・ 県道宝塚唐櫃線（西宮市塩瀬町）応急復旧 ・ 道路交通法に基づく交通規制による緊急輸送ルート確保、広報 ・ 警察官、パトカー等による緊急輸送車両の誘導開始	（ 警 察 本 部 ）
余 震 対 策	・ 森林危険箇所パトロールの実施（～24日、11班27名体制） ・ 農地等危険箇所パトロールの実施（～24日、9班28名体制） ・ 漁港危険箇所パトロールの実施（～継続中、9班18名体制） ・ 被災港湾を中心とした重点的パトロールの実施 ・ 土砂災害危険箇所のシート掛けの実施 ・ 被災河川の重点的パトロールの実施、河川現地調査（～20日） ・ 出勤不可能な職員の応急対策の徹底 ・ 建築物の安全チェック（公共施設）開始	（ 農 林 水 産 部 ） （ 土 木 部 ） 緊急住宅対策部 （ 都 市 住 宅 部 ）
庁 内 対 策	・ 骨格予算の検討 ・ 災害対策特別委員会の設置の動き（11:00 代表者会議） ・ タンクローリー1台車で飲料水を確保 ・ 第2号館10号機エレベーター復旧 ・ 第1・2号館自家発電装置復旧完了 ・ 建物、設備応急復旧工事着手（各館）	庁 内 対 策 部 （ 総 務 部 ）
来 県 者 等	・ 小沢国土庁長官、野中自治大臣等が現地視察（知事、副知事が被災状況の説明と要望） ・ 玉沢防衛庁長官、亀井運輸大臣等が現地視察 ・ 国会与野党災害調査団が現地視察 ・ 全国知事会に兵庫県南部地震対策都道府県協力本部を設置	（ 企 画 部 ）

1月19日(木)

本部の動向	6:00 災害対策総合本部会議開催 13:30 災害対策総合本部会議開催 18:00 災害対策総合本部会議開催 (1) 情報発信(放送活用)の検討 (2) 災害対策法に基づく緊急ルートを決定 (3) 余震対策の徹底 (4) 中期的対策(2月末目途)の検討 (5) 本部会議の定例化(20日以降 7時、11時、16時) <特記事項> * 村山総理大臣来県 * 災害救助法指定市町数 8市6町 (23:30 明石市、五色町追加)
-------	--

緊急対策	概 要	実 施 部
動 員	・他府県の応援を得て、警察官16,000人体制を確立 ・陸上自衛隊中部方面隊13,000人出動	緊急活動救援部 (警察本部)
情 報 (収集・連絡 ・広報)	・記者発表(9時、10時、15時、21時) ・「地域安全ニュース」の発行 <被害状況 — 15:45 現在把握分 — > 死者 3,509 人 負傷者 17,483 人 行方不明 861 人 家屋倒壊 20,848 戸	情報対策部
救 援 活 動	・パトカー等による被災地域の重点パトロール開始 ・兵庫県警察救急救護所を設置 ・「外国人相談コーナー」を設置 ・スイスの災害救助犬12頭(隊員25名)が救助活動を開始(～1/22)	緊急活動救援部 (警察本部) (知事公室)
食 料 供 給	・防災計画に定める副食品(味噌、ハム・ソーセージ類)を受入れ ・地方自治体、民間団体から食料の援助物資を受入れ ・ダイエー、コープこうべで生鮮食料品を無料配付 ・近畿農政局を通じ、東海・中四国の農政局等へ野菜の出荷要請	緊急物資対策部 (農林水産部)
	・食料品の価格監視調査品目の追加(11項目を追加)及び監視調査を農林事務所に指示 ・農林水産省からの援助要請を受け、食品企業から弁当10万食供給(～25日まで、各日10万食)	

緊急対策	概 要	実 施 部
物 資 調 達	・ 航空自衛隊のヘリによる緊急物資輸送を開始 ・ ダイエーなど大手スーパーが生活物資を各店舗に緊急配送 ・ 油元売12社、運送業者に緊急輸送を要請	緊急物資対策部 (商 工 部)
ライフライン (電気・水道 ガス・電話)	・ 震災当初の停電 100万戸のうち89万戸復旧 (19時現在) ・ N T T が 1, 000 名体制で復旧作業 ・ 海上自衛隊艦船等による給水開始	緊急ライフライン 対 策 部 (商 工 部) (企 業 庁)
住 宅	・ 応急仮設住宅 2, 961 戸発注 ・ 避難住民の中期的受入れのため、公的宿泊施設等の調査開始	緊急住宅対策部 (都市住宅部) (生活文化部・ 企画部)
生 活 救 援	・ 緊急生活福祉資金の創設を国に要望 ・ 被災市町の在宅高齢者、障害者への対応状況の把握 ・ 社会福祉施設における処遇確保状況について調査 ・ 被災地区の福祉事務所に被保護世帯の住宅等確保の推進や一時扶助の積極的対応等を指示 ・ 県医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道接骨師会に健康保険証不携帯の場合の取扱を依頼 ・ 義援金の受入れ開始 ・ 被災児童福祉相談の開設 ・ 県社会福祉協議会ボランティアセンター並びに神戸市ボランティアセンターの状況把握	緊急生活救援部 (福 祉 部)
健康・医療	・ 警察ヘリコプターによる医師、医療物資の輸送実施 ・ 遺体安置保存用ドライアイスを確保 (約56トン) ・ 火葬搬入先の調査、割り振り ・ 日赤ネットワークにより他府県から血液製剤を受入れ ・ 厚生省が医薬品等をヘリコプター等で搬入	緊急救援活動部 緊急保健医療 対 策 部 (保健環境部)
	・ 伝染病菌の検査可能機関の確保 ・ 防疫薬剤を確保 (クレゾール 5, 600本等) ・ 県内市町、他府県から防疫薬剤、噴霧器の搬入開始	
ごみ・し尿	・ 他府県及び県内各市町から収集車 128台を確保 ・ 大阪湾広域臨海環境整備センターに阪神間の不燃物の受入れ決定 ・ バキュームカー70台、仮設トイレ 1, 000基確保	緊急ごみ・し尿 対 策 部 (保健環境部)

緊急対策	概 要	実 施 部
教 育	・被災県立学校建物の第1次（危険度判定）調査の開始（～1/30まで、対象 152校） ・公共交通機関途絶等による通学困難生徒の調査開始(56校を対象) ・公共交通機関途絶等による教職員の出勤状況の調査開始 ・文部省通知に基づき、無償教科書の給与の弾力的取扱いを指示 ・県立高等学校長、各教育事務所長、神戸市、各都道府県及び政令指定都市教育長あてに転入学希望者の弾力的取扱いを依頼	緊急教育対策部 （教育委員会）
交通・輸送	・災害対策基本法に基づく緊急輸送ルートを設定（国道2号、山手幹線など） ・緊急物資・資材等陸揚指定岸壁、集積積出指定岸壁を指定 ・通過交通対策ルートの発表 ・通過交通対策ルートの交通状況の把握、問い合わせの対応 ・JR東海道線尼崎～甲子園口、神戸電鉄有馬線鈴蘭台～有馬口、三田線、粟生線等が復旧 ・国道 176号（宝塚市宮ノ前）応急復旧	緊急輸送対策部 （土 木 部）
余 震 対 策	・余震に対する県民啓発文の作成に着手	緊急余震対策部 （生活文化部・企画部）
庁 内 対 策	・災害用公用車の確保 ・2号館前に簡易トイレ22基を設置 ・トイレの復旧 2号館、3号館井水に切り替え ・灯油の確保 ・第1号館5号機エレベーター復旧 ・建物構造調査（各館） ・窓ガラス復旧開始（各館） ・コンクリートガラ撤去開始（各館） ・無停電電源装置復旧	庁 内 対 策 部 （ 総 務 部 ）
来 県 者 等	・村山総理大臣 ・土井衆議院議長 ・園田内閣官房副長官 ほか26名 ・メキシコ政府地震調査団	

1月20日（金）

本部の動向	7:00 災害対策総合本部会議開催 16:00 災害対策総合本部会議開催 (1) 総合対策部を設置 (新都市再生計画策定の基本方針を協議) 〈特記事項〉 * 県議会 災害対策特別委員会を設置
-------	--

緊急対策	概 要	実 施 部												
情 報 (収集・連絡 ・広報)	・記者発表（12時、19時30分、21時） ・県民向け定時放送の開始 （サンテレビ、NHKラジオ、AM神戸、K i s s - F M） ・苦情処理班を設置 ・K i s s - F Mで英語による情報提供を実施 ・C N Nにスイスの救助隊に関する情報を提供 <被害状況 — 14:45 現在把握分 — > <table><tr><td>死者</td><td>4,128 人</td><td>負傷者</td><td>19,929 人</td></tr><tr><td>行方不明</td><td>711 人</td><td>家屋倒壊</td><td>29,619 戸</td></tr><tr><td>避難箇所数・人数</td><td>1,059 箇所</td><td></td><td>299,607 人</td></tr></table>	死者	4,128 人	負傷者	19,929 人	行方不明	711 人	家屋倒壊	29,619 戸	避難箇所数・人数	1,059 箇所		299,607 人	情 報 対 策 部 （ 知 事 公 室 ） 国 際 対 策 部 （ 知 事 公 室 ）
死者	4,128 人	負傷者	19,929 人											
行方不明	711 人	家屋倒壊	29,619 戸											
避難箇所数・人数	1,059 箇所		299,607 人											
救 援 活 動	・避難所緊急パトロール隊発足 （神戸市4区、芦屋市、西宮市分 33班、165人） ・被災地域における24時間集団パトロール開始	緊急活動救援部 （生活文化部） （ 警 察 本 部 ）												
食 料 供 給	・災害用米穀（3,000トン）の搬入を完了 ・避難所への供給体制を整備 ・農林水産省現地対策本部へ食料確保計画に基づく円滑供給を要請 ・食料品の価格監視調査を実施（～23日）	緊急物資対策部 （農林水産部）												
物 資 調 達	・県消防学校基地の体制充実、トラック協会からの車両応援開始 ・神戸、阪神間の物資の不足状況を調査 ・電気の復旧等に伴い、ガソリンスタンドの営業増加(営業率40%)	緊急物資対策部 （生活文化部） （ 商 工 部 ）												

緊急対策	概 要	実 施 部
ライフライン (電気・水道 ガス・電話)	・震災当初の停電 100万戸のうち約94万戸復旧(18時現在) ・NTT、1,500名の復旧体制に増員 ・大阪府、京都府に対して管工事組合の紹介を依頼するとともに、被災市に対して、管工事組合のあっせん開始 ・NTTより仮設住宅用電話3万台提供の申入れ	緊急ライフライン 対 策 部 (商 工 部) (企 画 部)
住 宅	・応急仮設住宅 478戸着工 ・避難住民の中期的受入れ施設として提供可能な公的宿泊施設等の第1次取りまとめ ・近隣府県に対し、公的宿泊施設提供の協力依頼 ・ボランティアによるホームステイ受入れの呼びかけ	緊急住宅対策部 (都市住宅部) (生活文化部・ 企画部)
生 活 救 援	・厚生省において、緊急生活福祉資金の実施を検討 ・ショートステイの弾力的運用を通知 ・保育所への入所手続きの簡略化を通知 ・厚生省から各府県、政令市に被災施設への職員派遣の支援要請 ・日赤を中心とした炊きだし事業の検討開始 ・ボランティアに関する関係団体(NGO)との調整 ・ボランティア需給調整開始	緊急生活救援部 (福 祉 部)
健 康 ・ 医 療	・県歯科医師会が、対策本部を設置 ・火葬対策として、自衛隊ヘリ、自衛隊車の支援を要請 ・被災保健所への保健婦派遣体制を整備 ・西宮、津名保健所で避難所巡回健康相談を開始 ・医薬品等の市町への発送開始 ・環境庁と環境調査及び工場、事業場に対して講じるべき措置について協議 ・防疫薬剤等の搬入窓口として、姫路中央保健所、伊丹保健所、県立衛生研究所を確保	緊急保健医療 対 策 部 (保健環境部)
ごみ・し尿	・バキュームカー71台、仮設トイレ1,000基確保 ・仮設トイレの設置開始(20日 36基設置)	緊急ごみ・し尿 対 策 部 (保健環境部)
教 育	・文部省、教科書会社へ教科書の補給必要概数を報告	緊急教育対策部 (教育委員会)

緊急対策	概 要	実 施 部
交 通 ・ 輸 送	・ 名神高速道路（東行）京都南～吹田 J C T（緊急車のみ）等通行止解除 ・ 県トラック協会、トラックの配車開始 ・ 緊急物資・資材等陸揚指定岸壁の追加指定（２か所） ・ 航空機による輸送力の増強と救援物資輸送を自衛隊に要請，搬送 ・ 民間航空機による県域通過物の迂回輸送の把握及び調整開始、J A L は 1 機提供申し出 ・ 政府主導による民間からの救援物資のヘリ輸送開始	緊急輸送対策部 （ 土 木 部 ）
余 震 対 策	・ 余震に関する啓発文を決定 ・ アドバイザーによる地すべり調査及び警報装置等の設置（西宮市 仁川百合野町）	緊急余震対策部 （生活文化部・ 企画部） （ 土 木 部 ）
庁 内 対 策	・ 当面の県主催事業について、実施方針を決定、各部に照会 ・ 県議会、災害対策特別委員会を設置	庁 内 対 策 部 （ 知 事 公 室 ） （ 総 務 部 ）
来 県 者 等		

1月21日(土)

本部の動向	7:00 災害対策総合本部会議の開催 11:00 // 16:00 // (1) 降雨対策を重点として実施 (2) 救護活動、救護対策現地本部の設置を決定 (3) 避難所救護センターの設置場所決定
-------	--

緊急対策	概要	備考												
情報	- 記者発表（10時、14時、19時） - TV会議システムによる県市ホットラインの設置申出を受け、検討協議 <被害状況> <table><tr><td>死者</td><td>4,600 人</td><td>負傷者</td><td>23,226 人</td></tr><tr><td>行方不明</td><td>445 人</td><td>家屋倒壊</td><td>48,178 戸</td></tr><tr><td>避難箇所数・人数</td><td>1,090 カ所</td><td></td><td>301,297 人</td></tr></table>	死者	4,600 人	負傷者	23,226 人	行方不明	445 人	家屋倒壊	48,178 戸	避難箇所数・人数	1,090 カ所		301,297 人	情報対策部 （知事公室） 緊急渉外対策部 （企画部）
死者	4,600 人	負傷者	23,226 人											
行方不明	445 人	家屋倒壊	48,178 戸											
避難箇所数・人数	1,090 カ所		301,297 人											
救 援 活 動	- 雨天対策として、屋外20カ所に避難者用テントを設置 - 避難所緊急パトロールを50班、236名に増員、神戸市（6区）西宮市、芦屋市の避難所をパトロール - 降雨に備えて危険箇所を確認。被害防止措置、広報活動を実施 「ボランティアパトロール隊」による被災地パトロール開始 - フランス災害救助特別部隊（隊員60名、犬4頭）が活動開始（～1/24）	緊急救援活動部 （生活文化部） （警察本部） 国際対策部 （知事公室）												
物 資 調 達	- 携帯ラジオを神戸市（8,000台）、阪神県民局（5,000台）に配布 - 消防学校基地に加え、グリーンピア三木基地を整備 - 両基地への消防団員の応援開始 - 毛布57,000枚、米5,250トン（7日分）、乾パン34万食（2週間分）を確保 - 緊急物資の大型小売店舗等での無償配布を依頼 - タイ副首相、韓国外務省等から物資の受入れ	緊急物資対策部 （企画部） （生活文化部） 国際対策部 （知事公室）												

緊急対策	概 要	備 考
ライフライン (電気・水道・ガス・電話)	- 電気の復旧 97万戸 (当初停電 100万戸) - 電話の復旧 1,500人体制で復旧作業中 - 水道の復旧 主な市の断水状況 神戸市 70.2% 西宮市 95.8% 芦屋市 100% 宝塚市 50% 三木市は復旧完了 - 神戸市、芦屋市、西宮市の病院等に給水車、ポリタンクによる給水開始 - 下水道の復旧 武庫川上流浄化センター応急復旧	緊急ライフライン 対 策 部 (商 工 部) (企 業 庁) (土 木 部)
住 宅	応急仮設住宅 5,000戸、公営住宅を含めて16,000戸対策へ変更	緊急住宅対策部 (都市住宅部)
生 活 救 援	- 厚生大臣に緊急生活福祉資金の創設を要望 - 医療費の一部負担金、標準負担額等の支払い猶予	緊急生活救援部 (福 祉 部)
健 康 ・ 医 療	- 宝塚、川西保健所で巡回健康相談実施 100万人入浴計画を策定、自衛隊と調整 - 県獣医師会等が動物救援対策本部を設置	緊急保健医療 対 策 部 (保健環境部)
ご み ・ し 尿	- 伊丹市からの要請に応じゴミ収集車10台派遣 - バキュームカー75台確保 - 仮設トイレ 9,174基確保、設置済 332基	緊急ごみ・し尿 対 策 部 (保健環境部)
教 育	- 住居全・半壊等による授業料等の納付が困難となった者への県立大学授業料等免除を決定 - 県立大学の入試出願方法の変更決定 - 私立中学高等学校連合会に入試日程検討を要請 - 休校 県立学校49校 市町立小学校 263校 市町立中学校 124校 市町立高校等 25校 計 461校	緊急教育対策部 (総 務 部) (教育委員会)

緊急対策	概要	備考
交通・輸送	・ 当面の一般車迂回ルートの検討及び各道路管理者協議 ・ 迂回ルートの応急工事 ・ 新たな臨時ヘリポート、資材ストックヤード候補地検討、関係者協議 ・ 淡路フェリー（大磯 — 須磨）運航再開 ・ JR福知山線（全線）、阪急電鉄伊丹線（塚口 — 新伊丹）運行再開	緊急輸送対策部 （土木部）
余震対策	・ 余震に対する県民啓発（ラジオ）開始。避難住民向け啓発文印刷（31万部） ・ 河川の降雨対策（ガレキ等の埋塞物の撤去、ビニールシート張り）	（生活文化部・企画部） （土木部）
来県者等	・ 小里地震対策担当大臣ほか6名来県 ①現地調査 ②被災状況説明・要望 ・ 武村大蔵大臣ほか10名来県 ①現地調査 ②被災状況説明・要望 ・ 井出厚生大臣ほか9名来県 ①現地調査 ②被災状況説明・要望	緊急渉外対策部

1月22日(日)

本部の動向	7:00 災害対策総合本部会議の開催 11:00 " 16:00 " 〈特記事項〉 * 国の現地対策本部設置 * 災害対策救助法指定市町数 10市7町(23:30 三木市、洲本市、西淡町追加)
-------	--

緊急対策	概 要	備 考
動 員	・ 4万人体制で救助活動続行 警察官 12,600人 消防隊員・団員 12,700人 自衛隊 15,000人	
情 報	・ 記者発表（ 9時30分、10時、19時35分） ・ 県と市のホットライン設置。通信試験実施。 <被害状況> 死者 4,914 人 負傷者 23,603 人 行方不明 200 人 家屋倒壊 49,705 戸 避難箇所数・人数 1,097 カ所 297,313 人	情報対策部 （知事公室） （企画部）
救 援 活 動	・ 神戸市内5カ所（東灘、灘、中央、兵庫、長田）、西宮市内1カ所、計6カ所に24時間体制の救護対策現地本部を設置（本部員3名、医療スタッフ6名、ボランティアスタッフ） ・ 避難所緊急パトロールを100班、500名に充実、神戸市、西宮市、芦屋市の避難所をパトロール（以降毎日100班体制で実施） ・ 降雨による危険箇所に立入禁止を措置。広報活動を実施 ・ アメリカ政府へ防水シートを依頼	緊急救援活動部 （生活文化部） （警察本部） 国際対策部 （知事公室）
物 資 調 達	・ 「消費生活相談」体制の充実（生活相談員を10名増員） ・ 近畿通産局に住宅建材等の供給体制の調査を依頼	緊急物資対策部 （生活文化部） （商工部）

緊急対策	概要	備考
ライフライン (電気・水道・ガス・電話)	- 電気の復旧 99万戸 (当初停電 100万戸) - 大阪ガス、供給停止地区の外縁部(明石市、猪名川町)から一般世帯の復旧作業に着手 - 大阪ガス、芦屋市、伊丹市にカセットコンロ等は無償貸与 - 神戸市、西宮市、芦屋市の学校プールへ緊急的措置としての生活用水の給水を開始	緊急ライフライン 対策部 (商工部) (企業庁)
住 宅	避難者の応急仮設住宅に対するニーズ調査実施(約1600の回答) 建物の全壊・半壊のため避難 1100名 (住宅の提供希望1000名、その他 100名) 建物の全壊・半壊以外の理由で避難 500人	緊急住宅対策部 (都市住宅部)
生活救援	- 県税の期限延長を決定(方針決定) - ボランティアの募集にかかる情報提供開始 - 赤十字奉仕団による「赤十字まごころサービス」事業を検討 - 雇用調整助成金制度の特例運用、雇用保険失業給付の特例支給 新規学卒者の就職支援対策等を労働大臣に要望	緊急生活救援部 (総務部) (福祉部) (労働部)
健康・医療	6か所に避難所救護センターを設置、県立病院医師等を派遣 - 入院病床、県立病院91床、一般 291床、近隣府県の国立 273床 可能に - 神戸市中央、長田保健所に精神科救護所を設置 - 芦屋・明石保健所で、避難所における巡回健康相談を実施 - 厚生省に、インフルエンザ予防のための薬、マスク等の確保を 要請 - 市町災害対策本部に第2次医薬品を搬送 100万人入浴計画 —— 風呂設置場所調整、給水状況調査	緊急保健医療 対策部 (保健環境部)
ごみ・し尿	- 収集車10台派遣(伊丹市へ) - バキュームカー 125台確保、芦屋市等からの要請に応じ、50台 派遣 - 仮設トイレ 設置済 954基	緊急ごみ・し尿 対策部 (保健環境部)

緊急対策	概要	備考
教 育	- 学校への被災者の受入れ 県立高校 11校（神戸 8 阪神 3） 10,529人 市町立校 小 226校 中 102校 計 328校 129,256人 - 避難住民の多い県立学校へ県立学校教職員の応援派遣を開始 （毎日30～40人）	緊急教育対策部 （教育委員会）
交 通 ・ 輸 送	- 災害対策法に基づく緊急輸送ルートの変更 （東行）姫路B P→加古川B P→第二神明→北神戸線→ 第2新神戸トンネル （西行）国道2号→神戸市道山麓線→山手幹線 - 自衛隊の要請に応じ臨時ヘリポート用地確保、輸送力の増強 及び救援物資の輸送を要請 - 明岩海峡フェリー（明石—岩屋）運航開始 - 西宮～神戸臨時旅客航路の開設を神戸海運監理部・運航会社と 調整、決定	緊急輸送対策部 （土木部）
余 震 対 策	- 余震に対する県民啓発文（避難住民向け）を市町及び緊急パト ロール隊により、避難所に配布 - 山地災害危険箇所のシート保護の実施 - 西宮内防波堤テトラ設置 - 宅地防災パトロールの実施（4地域、9班、28名体制） - 建築物の安全チェック終了 （延べ1,400人、2,825件に「使用禁止」の貼り紙）	（生活文化部・ 企画部） （農林水産部） （土木部） （都市住宅部）
庁 内 対 策	第1号館1号機、公館2・3号機エレベーター復旧	庁内対策部 （総務部）
来 県 者 等	- 小里地震対策担当大臣来県 - 消防庁長官ほか3名来県 ①現地視察 - チャムロンタイ王国副首相来県 - 政府現地対策本部設置	（企画部）

1月23日(月)

本部の動向	7:00 災害対策総合本部会議の開催 16:00 ” (本日から11:00の会議は、トップマネジメント会議として実施) (1) 国、県、市による連絡会議・幹事会の定例開催を決定 (2) 国や他府県等への要請事項の確認
-------	---

緊急対策	概 要	実 施 部
情 報	・記者発表(10時、19時) ・県と市の災害対策本部を結ぶホットラインを設置(神戸市、芦屋市、宝塚市、西宮市、伊丹市、尼崎市) <被害状況> 死者 4,978 人 負傷者 24,081 人 行方不明 145 人 家屋倒壊 51,520 戸 避難箇所数・人数 1,153 カ所 316,678 人 被害総額 6兆 4千万円	情報対策部 (知事公室) 緊急渉外対策部 (企画部)
救 援 活 動	・救護対策現地本部 芦屋市内1か所開設(計7か所) ・降雨対策 森林防災パトロールの実施 3地域11班27名 危険か所のパトロール強化 ・イギリス国際救助隊(NGO15名)が活動開始(～1/26)	緊急救援活動部 (生活文化部) (農林水産部) (警察本部) 国際対策部 (知事公室)
物 資 調 達	・毛布 各府県の協力で概ね必要量確保 ・大規模小売店舗の開店状況 554店(88.7%) 開店(1/23 16時現在) ・ガリンスターの営業店数 364店(72.0%) 開店(1/23 16時現在) ・2月末までの食料を確保 主食 30,600t(40日分)、 乾パン34万食(2週分)、LL牛乳 150万本(9日分)、 粉ミルク 2.1万人分(30日分)、果実 133t(8日分) ・食料品価格監視調査 1/23から26品目の物価調査(1/26まとめ)	緊急物資対策部 (生活文化部) (商工部) (農林水産部)
ライフライン (電気・水道 ガス・電話)	・電気 復旧作業完了(15時現在) ・ガス 供給停止中84万5千戸(全面復旧に1か月半所要見込み) ・電話 不通回線 56,800回線 (家屋の全・半壊を除く不通回線は1月中復旧をめざす)	緊急ライフライン 対 策 部 (商工部)

緊急対策	概 要	実 施 部
	・水道 (断水状況) 神戸市 384,800戸(59.2%) 尼崎市15,000戸(7.8%) 西宮市 133,000戸(81.2%) 芦屋市全戸(100%)伊丹市20,000戸 (30.3%) 宝塚市30,000戸(46.2%) 明石市30,000戸(30.6%)	(企 業 庁)
住 宅	・雇用促進住宅への受入れ決定 ・応急仮設住宅 第2次 8,141戸発注、(計11,102戸) ・建築士会等3団体による個人住宅の診断及び相談開始 ・特別立法の検討 国、県、市町の役割分担、事業主体等の検討	緊急住宅対策部 (労 働 部) (都市住宅部)
生 活 救 援	・義援金の募集、趣意書の作成、周知 ・厚生省、全国社会福祉協議会等による「社会福祉関係者救援合同 対策本部」を大阪府社会福祉協議会内に設置 ・被災地域事業主への雇用調整助成金制度の特例措置施行 ・雇用保険の失業給付の特例支給等実施決定 ・被災地等の公共職業安定所に特別相談窓口を設置	緊急生活救援部 (福 祉 部) (労 働 部)
健 康 ・ 医 療	・避難所救護センター1カ所増設(計7カ所) ・伊丹保健所で避難所における巡回健康相談を実施 ・尼崎市各保健所、宝塚保健所等が精神科診療協力医療機関を確保 ・火葬体制 遺体安置場所、火葬場、保存用ドライアイスを確保済 遺体運搬 自衛隊ヘリ、自衛隊車による運搬実施中 ・医療用医薬品の備蓄基地をサンボーホールに移す	緊急保健医療 対 策 部 (保健環境部)
ごみ・し尿	・ごみ処理体制の確保 収集車を東京都、政令市から確保済 ・し尿処理体制 県内市町等からバキューム車を確保済	緊急ごみ・し尿 対 策 部 (保健環境部)
教 育	・日本育英会の奨学生への応急採用について各高校長あて通知 ・公立高等学校入学者選抜の推薦入学等の入試日程変更について、 各高校長等へ通知	緊急教育対策部 (教育委員会)

緊急対策	概 要	実 施 部
交 通 ・ 輸 送	・ 緊急輸送ルートの確保（国道43号の復旧に全力） ・ 迂回輸送対策としてJ R 播但線に臨時列車運行開始 （5往復 1/27からは7往復） ・ J R 山陽線（西明石～須磨）等運転再開 ・ 当面の主要迂回ルートの発表、マップ配布及び道路情報板による一般車流入自粛呼びかけ ・ J R 甲子園口～三ノ宮間の代替バス運行開始 ・ 阪急 西宮北口～三宮間の代替バス運行開始 ・ 阪神 甲子園～三宮間の代替バス運行開始 ・ 臨時旅客船航路 姫路港（飾磨）～神戸港 運行開始	緊急輸送対策部 （ 土 木 部 ）
余 震 対 策	・ 県幹部職員等に携帯電話を 105台配布 ・ 自衛隊ヘリコプターにより、被害状況の把握実施（～2月4日） ・ 建築物の被災度チェック（共同住宅等）開始 （2週間程度 50名、順次増員）	緊急余震対策部 （ 企 画 部 ） （ 土 木 部 ） （ 都 市 住 宅 部 ）

1月24日(火)

本部の動向	7:00	災害対策総合本部会議の開催
	11:00	〃
	16:00	〃
	18:00	兵庫県南部地震対策本部連絡会議幹事会の開催
	19:00	兵庫県南部地震対策本部連絡会議の開催

緊急対策	概要	実施部
情報	・兵庫衛星通信ネットワーク専用の電源車を配置 ・各種の問合せに即応する情報提供機能を充実－情報センター設置	(企画部) (生活文化部)
救援活動	・教護対策現地本部の本部員3名増員 (本部員6名、医療スタッフ6名、ボランティアスタッフ)	緊急救援活動部 (生活文化部)
食料供給	・自衛隊の炊飯車の確保により炊飯体制を確立 ・阪神間の食料品価格監視調査を指示	緊急物資対策部 (農林水産部)
物資調達	・携帯ラジオを阪神県民局(1,000台)、東播磨県民局(500台)、淡路県民局(500台)に配布 ・生活関連物資16品目の緊急物価調査を実施	緊急物資対策部 (企画部) (商工部)
ライフライン (電気・水道・ガス・電話)	・水道 淡路町、東浦町復旧完了	緊急ライフライン対策部 (企業庁)
住宅	・西宮市、芦屋市で公的宿泊施設等の入所受付開始 ・企業社宅等受入可能性の調査開始 ・公営住宅への一時入居開始(649戸入居決定)	緊急住宅対策部 (生活文化部・企画部) (労働部) (都市住宅部)

緊急対策	概要	実施部
生活救援	・生活福祉資金の特別貸付制度創設決定 ・被災者福祉なんでも相談開設 ・緊急外国人県民特別相談窓口の開設	緊急生活救援部 （福祉部） 国際対策部 （知事公室）
健康・医療	・避難所救護センター4カ所増設（計11カ所） ・灘、須磨、西宮、芦屋保健所に精神科救護所を設置（計6カ所） ・透析医療施設の稼働状況把握（184名対応可） ・一般医薬品を各災害対策本部へ搬送 ・仮設風呂の利用開始	緊急保健医療 対策部 （保健環境部）
ごみ・し尿	・自衛隊に仮設トイレの設置を要請 ・ガレキ輸送の他府県運搬業者、自衛隊への応援を決定	緊急ごみ・し尿 対策部 （保健環境部）
教育	・県立高校への避難者受入れ最大に（12校、10,548人） ・市町教委へ教科書納入開始 ・大学入試日程変更情報と被災生徒の学習場所確保について、県立学校長等へ通知	緊急教育対策部 （教育委員会）
交通・輸送	・近隣府県道路情報センターに一般自動車乗り入れ自粛を依頼 ・ポートライナー市民病院前～神戸税関前、六甲ライナー六甲アイランド北口～御影本町3丁目 代替バス運行開始 ・臨時旅客船航路 尼崎西宮芦屋港（今津）～神戸港 運行開始	緊急輸送対策部 （土木部）
余震対策	・神戸製鋼所等10事業所の緊急立入調査	緊急余震対策部 （商工部）

1月25日(水)

本 部 の 動 向	7:00 災害対策総合本部会議の開催 11:00 " 16:00 " 〈特記事項〉 ＊ 兵庫県議会第1回災害対策特別委員会開催
-----------------------	--

緊急対策	概要	実施部
情報	・NHK文字放送による震災関連情報の提供始まる	情報対策部 (知事公室)
物資調達	・下着2万セットを神戸市各区に配布	緊急物資対策部 (商工部)
ライフライン (電気・水道・ガス・電話)	・水道 川西市の復旧完了 ・大阪ガス、カセットコンロ等を芦屋市、西宮市へ貸与 ・電話不通回線数66,500回線	緊急ライフライン対策部 (企業庁) (商工部)
住宅	・ホームステイの斡旋を神戸市、西宮市及び芦屋市で開始 ・公的宿泊施設等への受入れ開始	緊急住宅対策部 (生活文化部・企画部・労働部)
生活救援	・県税の期限延長の告示 ・他府県からの施設職員応援派遣開始 ・要保護児童の措置の取扱いについて通知 ・赤十字まごころサービス事業(炊き出し事業)開始 ・義援金募集委員会設置、募集要綱を策定 ・避難所におけるボランティアニーズ調査(第1回、～27日) ・雇用保険の給付日数の延長決定	緊急生活救援部 (総務部) (福祉部) (労働部)

緊急対策	概要	実施部
保健・医療	・避難所救護センター1カ所増（計12カ所） ・東灘、兵庫保健所に精神科救護所設置（計8カ所） ・津名保健所で栄養士による巡回栄養相談開始 ・避難所救護センター及び巡回健康相談でインフルエンザ等の患者数を把握 ・厚生省調査団、避難所での患者の状況を調査 ・西宮、芦屋市の要請による遺体火葬計画が終了 ・環境モニタリング、二次災害防止措置等について環境庁と現地協議（～26日）	緊急保健医療 対策部 （保健環境部）
ごみ・し尿	・ごみ収集車確保 369台に（82台派遣） ・ガレキ海上輸送船の調整 ・県と関係省庁でガレキ輸送のワーキンググループ設置	緊急ごみ・し尿 対策部 （保健環境部）
教育	・私立中学高等学校連合会、入試日程変更を決定 ・文化庁、近畿府県の文化財専門職員の協力を得て、国、県指定建造物の被害状況調査を実施（～2/15まで）	緊急教育対策部 （総務部） （教育委員会）
交通・輸送	・JR東海道線（甲子園口～芦屋）運転再開 ・JR芦屋～三ノ宮間に代替バス区間を縮小	緊急輸送対策部 （土木部）
余震対策	・林野庁等と合同で森林防災緊急パトロールを実施 (27日までの3日間) ・林野庁派遣による専門技術調査団災害地調査（第1次） (27日までの3日間) ・山腹崩壊箇所に警報機付伸縮計の設置（北淡町野島藁浦）	緊急余震対策部 （農林水産部）

1月26日(木)

本 部 の 動 向	7:00	災害対策総合本部会議の開催
	11:00	〃
	16:00	〃
	18:00	兵庫県南部地震対策本部連絡会議幹事会の開催
	19:00	兵庫県南部地震対策本部連絡会議の開催
	<特記事項> * 衆参災害対策特別委員会来県	

緊急対策	概 要	実 施 部
救 援 活 動	・移動交番所による「よろず相談所」を開放	緊急救援活動部 (警察本部)
物 資 調 達	・下着1万4千セットを神戸市、北淡町等に配布 ・食糧品の価格調査(20店舗)とりまとめ(価格は平常どおり)	緊急物資対策部 (商工部) (農林水産部)
住 宅	・ホームステイの斡旋、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市及び淡路地域でも開始 ・ホームステイ受入事務にかかるボランティア募集 ・被災者用公営住宅等斡旋支援センターの開設 ・関係団体等による総合住宅相談所の開設	緊急住宅対策部 (生活文化部・企画部) (都市住宅部)
健 康 ・ 医 療	・緊急時の精神科医の確保関係者会議 ・他府県からマスク等の提供、受入れ ・(社)兵庫県薬剤師会、医薬品の配布開始 ・自衛隊に防疫薬剤、噴霧器の搬送を要請 ・神戸検疫所から西宮保健所に人的協力(26日～)	緊急保健医療 対 策 部 (保健環境部)
ご み ・ し 尿	・尼崎、西宮、伊丹市のごみ処理を大阪市に依頼	緊急ごみ・し尿 対 策 部 (保健環境部)
教 育	・国立大学の入試検定料徴収猶予決定	緊急教育対策部 (教育委員会)

緊急対策	概 要	実 施 部
交 通 ・ 輸 送	・ 阪神本線（甲子園～青木）、武庫川線（全線）運転再開 ・ 阪神 青木～三宮間に代替バス区間を縮小	緊急輸送対策部 （ 土 木 部 ）
余 震 対 策	・ 安全対策の心得を職員に配布	緊急余震対策部 （ 総 務 部 ）
庁 内 対 策	・ 破損ガラス撤去完了	庁内対策部 （ 総 務 部 ）

1月27日（金）

本部の動向	7：00 災害対策総合本部会議開催 16：00 災害対策総合本部会議開催 18：00 兵庫県南部地震対策本部連絡会議幹事会の開催 19：00 兵庫県南部地震対策本部連絡会議の開催
-------	---

緊急対策	概要	実施部
救 援 活 動	・関西電力、各市で「街を明るくするライトアップ作戦」実施 ・緊急外国人県民特別相談を充実 （中国語、スペイン語、ポルトガル語） ・留学生被災状況調査の実施	緊急救援活動部 （警察本部） 国際対策部 （知事公室）
食 料 供 給	・阪神間35店舗、14品目の第1回調査（価格動向は平常どおり） ・自衛隊の炊飯車による炊きだし開始（生活改善グループが協力）	緊急物資対策部 （農林水産部）
物 資 調 達	・下着4万6千セットを神戸市他6市に配布開始 ・近畿通産局から建築資材42品目（主要47団体）の供給体制等の回答（所要の供給可能）	緊急物資対策部 （商工部）
住 宅	・神戸市5現地本部でも公的宿泊施設等のあっせん開始	緊急住宅対策部 （生活文化部・企画部）
ライフライン （電気、水道 ガス・電話）	・厚生省との協議により、大阪府水道部に水道復旧支援本部を設置	緊急ライフライン対策部 （企業庁）
生 活 救 援	・緊急生活福祉資金の貸付開始 ・被災者福祉なんでも相談へ、障害者専用電話を設置 ・要介護高齢者の県外施設への緊急保護について通知 ・避難生活者の生活保護申請の取扱指針等を福祉事務所に指示	緊急生活救援部 （福祉部）

緊急対策	概 要	実 施 部
教 育	・ 高校生等への学用品の給付（救助法適用）の副申を文部大臣に要望 ・ 盲、ろう、養護学校の就学奨励費補助にかかる支弁区分の拡大、事務簡素化についての通知 ・ 県立盲、ろう、養護学校の寄宿舎での住居をなくした盲、ろう、養護学校の児童、生徒の受入れを決定	緊急教育対策部 （教育委員会）
交 通 ・ 輸 送	・ 中国自動車道全線開通 ・ 新幹線、姫路－新大阪間の代替バス運行開始 （28日には、姫路－三田間に区間縮小） ・ 山陽電鉄（明石－霞ヶ丘）運転再開	緊急輸送対策部 （土 木 部 ）
余 震 対 策	・ 県下 1,131事業所に対し、文書により余震対策を指示	緊急余震対策部 （商 工 部 ）
庁 内 対 策	・ 第3号館2号機エレベーター復旧	庁内対策部 （総 務 部 ）

1月28日(土)

本部の動向	7:00 災害対策総合本部会議開催 16:00 災害対策総合本部会議開催 18:00 兵庫県南部地震対策本部連絡会議幹事会の開催
-------	---

緊急対策	概要	実施部
救 援 活 動	・行方不明者(51名)を一斉捜索(警察、自衛隊、消防合同で) ・カナダテント第1号を魚崎中に設置、その後長田地区現地本部に2張設置 (長田地区現地本部を真野公園から文化体育館横へ移動) ・7現地本部に近畿・中国・四国3ブロックの各府県・政令市が住宅提供のための受付窓口を設置	緊急救援活動部 国際対策部 (知事公室)
食 料 供 給	・米販売の量販店への重点的配分を調整 ・フェリー運行便数増により淡路からの輸送体制ほぼ回復	緊急物資対策部 (農林水産部)
物 資 調 達	・物価モニター電話アンケート(～29日)	緊急物資対策部 (生活文化部)
ライフライン (電気・水道 ガス・電話)	・カセットコンロ等を神戸市へ貸与(大阪ガス)	緊急ライフライン対策部 (商工部)
住 宅	・西宮市、芦屋市の避難所において、第2次避難所への移転意向調査(～29日) ・芦屋市「すずらん丸」利用者の受付開始	緊急住宅対策部 (生活文化部・企画部)
健康・医療	・被災地域の透析医療施設、西市民、西病院以外すべて回復 ・日本電機工業会から1,000台の洗濯機寄贈決定 (市町の意向をふまえ配送)	緊急保健医療対策部 (保健環境部)

緊急対策	概 要	実 施 部
ごみ・し尿	・ガレキ処理対策の基本方針決定、発表	緊急ごみ・し尿 対 策 部 (保健環境部)
教 育	・被災者電話教育相談の開設を決定、広報	緊急教育対策部 (教育委員会)
交通・輸送	・国道43号の上下2車線通行可能 ・J R (芦屋－三ノ宮間)、阪急(西宮北口－三宮間)、阪神(青木－三宮間) 各代替バス直行便運行開始 ・直行バス運行に伴うバス優先運行対策開始	緊急輸送対策部 (土 木 部)
余 震 対 策	・森林防災パトロールを実施(～継続中、11班27名体制) ・地すべり被災箇所伸縮計の設置(神戸市東灘区西岡本)	緊急余震対策部 (農林水産部) (土 木 部)

1月29日（日）

本部の動向	7：00 災害対策総合本部会議開催 17：00 災害対策総合本部会議開催 〈特記事項〉 ＊ 臨時県議会開会
-------	---

緊急対策	概要	実施部
動 員	・ 救助活動従事者 54,000人 { 警察官 16,000人 消防隊員・団員 13,000人 自衛隊 25,000人等 	
情 報 (収集・連絡・広報)	・ 記者発表 ＜被害状況＞ 死者 5,078 人 負傷者 24,580 人 行方不明 14 人 家屋倒壊 80,814 戸 避難箇所数・人数 1,068 カ所 268,718 人 被害総額 約 8兆 5千億円	
救 援 活 動	・ カナダテント、中央地区現地本部に1張設置	国 際 対 策 部 (知 事 公 室)
ライフライン (電気・水道 ガス・電話)	・ ガス24,000世帯復旧（供給停止84万 5千世帯のうち） ・ 水道：津名町、一宮町復旧完了 断水中は7市1町 神戸市（49.4％） 西宮市（81.2％） 芦屋市（82.0％） 宝塚市（10.8％） ・ 電話不通回線 約48,000回線	緊 急 ラ イ フ ラ イ ン 対 策 部 (商 工 部) (企 業 庁)
生 活 救 援	・ 義援金第1次配分の方針を決定	緊急生活救援部 (福 祉 部)

緊急対策	概 要	実 施 部
健康・医療	・インフルエンザワクチン 8,000人分を確保、接種開始 ・避難所救護センターを1か所増設（計13か所） ・仮設風呂に加え、シャワー利用開始	緊急保健医療 対 策 部 （保健環境部）
ごみ・し尿	・倒壊家屋等処理受付を一部市町で開始	緊急ごみ・し尿 対 策 部 （保健環境部）
教 育	・国立大学協会において、被災受験生に対する特別措置を検討中の旨を、市町教育委員会、県立学校長に周知の通知	緊急教育対策部 （教育委員会）
庁内対策	・第237回臨時県議会開会（会期1日）	庁内対策部 （総務部）

1月30日(月)～2月5日(日)

緊急対策	概 要
動 員 情 報	・ 1月30日 災害対策総合本部に「震災復興本部」を設置 <定例会議> 8:30～9:30 緊急対策本部会議(第1回) 11:00～12:00 震災復興本部会議 16:00～17:00 緊急対策本部会議(第2回) ・ 警察、消防、自衛隊などが5万4千人態勢で活動を継続 ・ 2月1日～「震災ニュース」の発行 ・ 2月5日 サンTV「兵庫県南部地震対策情報」開始(毎週日曜9時～10時) ・ 2月5日 「ニューひょうご」臨時号を発行
救 援 活 動	・ 2月1日 「悪質商法取締隊」発足
食 料 供 給	・ 2月3日 食肉事業協同組合連合会等による炊き出し開始(15日間5万7百食)
物 資 調 達	・ 1月30日 暮らしのクリエイターによる価格調査(以降、継続実施) ・ 1月31日 野菜等の供給70%を確保(量販店も89%営業) —— ほぼ回復 ・ 2月1日 米以外の食料品は各市町購入を基本とし、県は支援へ ・ 2月3日 消防学校、グリーンピア三木に加え、三木山森林公園で備蓄開始 ・ 2月5日現在 ガソリンスタンド営業率94%
ライフライン	・ 電話 1月31日電話復旧完了 ・ 水道 1月31日尼崎市・明石市 2月2日伊丹市 復旧 2月5日現在 4市1町で断水 (断水率) 神戸35.8%、西宮37.7% 芦屋53.3%、宝塚 3.1%、 北淡 8.4% ・ ガス 2月5日現在 119,000戸復旧

緊急対策	概 要
住 宅	・ 1月30日～緊急家賃調査実施（以降 継続実施） ・ 1月31日 受入れ可能な企業社宅等の情報提供開始 ・ 2月1日 応急仮設住宅 第3次発注（10,688戸） ・ 2月2日 避難所の心身リフレッシュ事業（温泉所在地旅館等での受入れ）検討開始 ・ 2月5日 第2次避難所への意向調査を踏まえ、移転希望者に個別あっせん案内 ・ 2月5日 宅地防災相談所を開設 ・ 2月5日現在 仮設住宅発注戸数21,790戸（既着工戸数11,102戸） 入居決定（仮設住宅3,506戸 公営住宅等4,508戸）
生 活 救 援	・ 1月30日 災害弔慰金の相談・受付開始 ・ 1月30日 労働保険料の申告・納期限延長決定 ・ 1月31日 避難所におけるボランティアニーズ調査（第2回 ～2月2日） ・ 2月1日 避難所における高齢者の配慮を市町に通知 ・ 2月1日 義援金、一部の市町で1次配分開始 ・ 2月1日 被災市の福祉事務所へ他府県（政令市）職員の応援派遣開始 ・ 2月3日 近畿ブロック学生就職面接会開始 ・ 2月5日現在 義援金 76億6千万円
健康・医療	・ 1月30日～巡回健康相談への他府県からの保健婦派遣計画策定 ・ 1月30日 川西・明石保健所で巡回栄養相談開始 ・ 2月1日～各市に洗濯機を搬送 ・ 2月1日 芦屋・伊丹・宝塚保健所で巡回栄養相談開始 ・ 2月2日 西宮保健所で巡回栄養相談開始 ・ 医師等の派遣、救護班の派遣 ・ タイ医療チーム（医師2名、看護婦3名）による医療活動の支援（1/31～2/6） ・ 避難所救護センターの設置（計14カ所） ・ 伊丹・津名保健所に精神科救護所を設置（計10カ所） ・ 精神保健センターが精神科救護所の活動状況を記載した「精神保健センターニュース」を発行 ・ インフルエンザ予防接種の実施 ・ 仮設風呂等の設置（2月5日現在 風呂72基、シャワー92基） ・ 県薬剤師会「薬の相談所」を開設 ・ 1月30日 工場・事業場に対し、環境関連施設の適正な点検整備等について通知

緊急対策	概 要
ごみ・し尿	・被災市町への収集車の派遣 ・1月30日 自衛隊粗ごみ収集を開始 ・仮設トイレ継続設置（2月5日現在 3,886基） ・倒壊家屋等処理受付（2月5日現在 37,727基）
教 育	・1月30日 被災者電話教育相談開始（～3月31日まで） ・1月31日 住居全半壊等による生活困難者に対する県立高校授業料の免除決定 ・1月31日 文部省・他府県の技術職員の協力を得、市町立学校施設の応急危険度調査を実施（～2／3まで） ・1月31日 文部省の協力を得、国・県指定美術工芸品・有形民俗文化財の被害状況調査を実施（～2／2まで） ・2月1日 被災県立学校建物の第2次（被災度判定）調査を開始（対象数73校） ・2月5日 関係市町教委へ教科書ほぼ納入済み ・学校への避難者受入れ状況（2月5日現在 349校 148,196人） ・学校の休校状況（2月4日現在 127校）
交 通 輸 送	・1月30日 JR山陽線（全線）等運転再開 ・1月31日 甲子園岸壁他のエプロン暫定復旧 ・2月1日 災対法の緊急輸送ルートを変更 ・2月1日 名神高速道路（西行 尼崎～西宮（緊急車のみ） 東行 尼崎以東） 通行止解除 ・2月1日 神戸高速・阪神（高速神戸～三宮）運転再開 ・2月5日 阪急 今津線（全線）運転再開
余 震 対 策	・2月4日 緊急を要する山地災害箇所について、治山応急工事着工（神戸市須磨区妙法寺）
庁 内 対 策	・1月31日 第2号館8号機エレベーター復旧 ・2月2日 議場エレベーター復旧 ・2月3日 第2号館7号機エレベーター復旧 ・2月5日 第1号館、西館ガラス復旧完了
来 県 者 等	・米国緊急事態管理庁（FEMA）来県（2／2～2／3）

2月6日(月)～2月12日(日)

緊急対策	概 要
動 員	・警察、消防、自衛隊などが活動を継続
情 報	・2月5日～県レギュラー番組枠を活用し、震災情報を放送 (サンTV・AM神戸・kissFM) ・2月11日 「災害対策本部からのお知らせ」(紙面購入) ・2月12日 全国地域情報発信事業(全国からの支援に対する県民の感謝の気持ちを伝える知事メッセージ) <被害状況(2月12日現在)> 死者 5,303人 負傷者 32,898人 行方不明者 4人 避難か所・人数 987カ所・222,528人
救 援 活 動	・2月10日 のじぎくパトロール隊発足
食 料 供 給	・2月6日 各市の食事提供状況、県への要望を改めて調査 ・2月6日～避難所にカット野菜を配送(6・7の両日、各1万食) ・2月7日 兵庫県倉庫協会あっせん倉庫に物資搬入開始 ・2月10日 余震対策として食料確保の職員行動マニュアル作成
ライフライン	・ガス 2月12日現在 226,000戸復旧 ・水道 2月7日 宝塚市復旧完了 2月11日 北淡町復旧完了 2月12日現在 断水3市 (断水率) 神戸21.7%、西宮19.5%、芦屋34.0% ・下水道 2月12日現在下水道管渠通水率 神戸99.8%、尼崎92.2%、西宮91.6%、芦屋73.8%、明石99.6% (宝塚、伊丹、川西、兵庫県は100%)
住 宅	・2月7日 避難者の心身リフレッシュ事業実施決定 ・2月9日 高齢者・障害者等を対象とした特別あっせん宿泊施設の受付開始 ・2月10日 住宅復旧相談センターを神戸及び西宮に設置 ・2月12日現在 仮設住宅等入居決定11,530戸 (仮設 5,521戸、県営住宅等 6,009戸)
生 活 救 援	・2月6日 神戸市、宝塚市で義援金の第1次配布開始 ・2月9日 緊急生活福祉資金の貸付け原則として終了(貸付原資82億円を見込む) ・2月10日 被災離職者に対する第1回目の特別訓練(建設機械運転コース) 訓練生募集開始 ・2月11日 被災児童こころの相談事業開始 ・2月12日現在義援金 10,819百万円

緊急対策	概 要
健康・医療	・ 2月6日 環境モニタリング調査の実施（～2／12） ・ 2月7日～工場等緊急実態調査実施 ・ 2月8日 「こころとからだのQ＆A」を避難所等に配布 ・ 2月9日 「こころのケア」に関する講演会・個別相談会を開催 ・ 2月11日 「こころのケア通信」を発行、避難所等に配布 ・ 2月12日現在 避難所救護センター9か所 仮設風呂等の設置（風呂77基 シャワー132基）
ごみ・し尿	・ 2月7日 自衛隊が西宮市のごみ集積場の消毒を支援 ・ 2月12日現在 倒壊家屋等の処理受付48,989件
教 育	・ 2月6日 公立高等学校入試に係る臨時措置の実施決定 ・ 2月9日 災害を受けた子どもたちの心の理解とケア事業の実施決定 （実施期間2／20～3／24） ・ 2月10日 県立学校全校開校 ・ 2月11日 県立大学特例入試の実施決定 ・ 2月12日現在 公立小・中・高等学校への避難者受入れ状況（322校 121,486人） ・ 2月13日現在 公立学校の休校状況 36校
交 通 輸 送	・ 2月7日 震災にかかる臨時便に対応するため大阪空港の運用時間を延長 神戸電鉄有馬線（鈴蘭台～長田）運転再開 ・ 2月8日 JR東海道線（芦屋～住吉）運転再開 ・ 2月9、10日 迂回ルート主要地点（6か所）で交通量観測 ・ 2月11日 国道2号全線通行可能 阪神電鉄（青木～御影）運転再開 ・ 2月12日 中国自動車道 宝塚IC～西宮北IC 片側2車線確保 ・ 2月13日 県道西宮宝塚線（西宮市樋ノ口町～上武庫橋）応急復旧
余 震 対 策	・ 2月8日 緊急を要する山地災害箇所について、治山応急工事着工 （神戸市灘区六甲山町一ヶ谷、西谷山） ・ 2月11日 山腹亀裂部に警報機付伸縮計の設置（宝塚市小林）
庁 内 対 策	・ 2月7日 第2・3号館ガラス復旧完了 ・ 2月9日 第1号館高架水槽復旧
そ の 他	・ 2月6日 平成6年度一般会計補正予算の専決 災害救助法の支援措置68,452百万円 災害援護金5,739百万円 ・ 2月11日 都市再生戦略策定懇話会開催

参 考

平成7年2月17日現在

避難者数の推移

〔上段：避難箇所数 下段：避難者数（それぞれ前日晩の数字を翌日集計したもの。）〕

日付		1月20日 (金)	1月21日 (土)	1月22日 (日)	1月23日 (月)	1月24日 (火)	1月25日 (水)	1月26日 (木)	1月27日 (金)	1月28日 (土)	1月29日 (日)	1月30日 (月)	1月31日 (火)	2月1日 (水)	2月2日 (木)	2月3日 (金)
市町名																
阪神	尼崎市	65 7,355	91 7,549	91 8,624	92 8,629	90 7,112	87 7,041	87 5,972	88 5,563	87 6,006	87 5,933	87 5,632	84 5,452	85 5,607	85 5,122	85 5,174
	西宮市	172 40,000	184 45,000	194 39,700	192 33,863	184 28,700	177 29,600	177 29,600	171 27,000	171 27,000	170 25,900	168 24,800	169 24,000	170 23,000	167 20,900	167 20,900
	芦屋市	55 20,850	54 20,970	54 20,970	54 20,970	54 16,134	56 12,201	56 12,201	55 9,843	55 9,035	54 9,041	54 8,995	54 8,927	53 8,912	53 8,912	53 7,620
	伊丹市	66 8,235	66 8,775	69 7,365	70 7,365	71 3,848	71 3,848	71 3,821	69 3,269	71 3,076	56 2,709	54 2,454	53 2,416	53 2,372	52 2,131	50 1,922
	宝塚市	62 13,804	65 11,485	65 11,018	65 11,018	59 8,580	59 8,729	54 8,108	54 8,120	54 7,898	53 7,058	53 7,058	51 5,652	52 5,687	51 5,317	51 4,902
	川西市	12 1,787	11 597	13 726	12 509	13 432	13 224	11 264	13 301	13 561	13 229	13 309	13 274	13 255	13 255	12 232
	神戸市	499 185,523	537 209,901	533 201,607	585 227,256	591 235,443	590 222,929	598 229,858	596 225,202	566 216,353	566 213,122	547 216,775	541 213,640	540 211,177	539 211,272	534 205,690
東播磨	明石市	19 1,193	20 2,086	21 1,730	25 1,474	20 1,352	20 1,227	20 1,075	20 1,060	19 1,068	20 915	19 788	19 816	20 722	19 663	19 683
	三木市	1 3	1 13	3 62	3 99	3 62	3 69	3 76	3 66	3 69	3 53	3 44	3 45	3 45	3 38	3 39
	その他	0 0	0 0	7 76	8 280	4 191	4 195	4 120	4 98	4 104	4 107	4 98	3 94	4 103	3 99	3 102
淡路	津名町	7 324	9 314	9 298	9 342	8 327	7 282	7 282	7 232	7 220	6 218	6 193	6 160	6 171	5 130	5 137
	淡路町	3 110	4 140	4 110	4 128	4 114	4 115	4 117	4 117	4 106	3 96	4 98	4 98	3 96	3 96	3 90
	北淡町	18 2,500	18 3,600	13 4,000	13 3,705	13 3,635	13 3,635	13 3,400	13 2,808	12 2,788	12 2,788	12 2,788	12 2,050	12 2,050	12 2,050	12 2,050
	一宮町	6 747	6 800	6 800	6 850	6 890	6 860	6 590	6 740	6 560	6 570	6 520	6 381	6 361	6 390	6 390
	五色町	2 12	4 22	4 22	4 12	6 16	5 12	5 12	5 12	4 9	4 9	4 9	4 9	4 9	4 9	4 9
	東浦町	11 313	9 224	10 200	10 173	11 185	11 178	11 200	11 142	11 144	10 124	10 123	10 123	10 128	9 125	9 125
	その他 1市4町	0 0	0 0	1 5	1 5	1 1	1 2	0 0	1 2	1 2	1 2	1 2	1 2	3 4	3 3	3 3
計		998 282,756	1,079 311,476	1,097 297,313	1,153 316,678	1,138 307,022	1,127 291,147	1,127 295,696	1,120 284,575	1,088 274,999	1,068 268,874	1,045 270,686	1,035 264,141	1,037 260,698	1,027 257,512	1,018 250,067
備考		※ 避難者数の各市町のピークの合計は 342,293人である。(1月20日～24日) ■ (1/22) 【降雨 (11mm)】 ■ (1/17) ・断水世帯：127万戸 (神戸市、阪神、淡路関係市町9市5町) ■ (1/18) ・小中高校休校数 562校 ■ (1/24) 【地震後1週間経過】 ・断水世帯：65万戸 (45%) ■ (1/23) ・神戸市 被害の少ない一部学校で短縮授業再開 ■ (1/31) 【地震後2週間経過】 ・応急仮設住宅についての知事談話発表 ■ (2/1) ・断水世帯：42.7万戸 (33%) ■ (1/30) ・西宮市一部学校を除き再開 ■ (2/2) ・芦屋市学校再開														

〔上段：避難箇所数 下段：避難者数〕

日付		2月4日	2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日	2月12日	2月13日	2月14日	2月15日	2月16日
市町名		(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)
阪 神	尼 崎 市	85 4,899	85 5,122	84 4,929	83 4,907	83 4,700	83 4,452	83 4,452	81 4,407	81 4,488	80 4,372	80 4,183	79 4,123	79 4,020
	西 宮 市	167 20,900	168 19,400	168 19,400	159 17,400	163 18,700	156 16,300	155 16,000	153 15,500	154 15,400	154 15,300	155 14,800	155 14,800	155 14,700
	芦 屋 市	54 7,665	54 7,652	54 7,652	53 7,240	53 7,070	53 7,070	53 7,070	52 7,025	52 6,906	52 6,856	52 6,826	51 5,569	50 5,540
	伊 丹 市	51 1,696	50 1,594	49 1,562	44 1,514	44 1,297	44 1,182	43 1,048	41 1,042	40 1,040	39 1,046	38 931	38 898	39 897
	宝 塚 市	51 4,679	51 4,549	50 4,125	50 3,942	50 3,942	49 3,846	48 3,532	48 3,554	48 3,500	46 3,433	44 3,304	43 3,093	43 2,748
	川 西 市	12 210	11 213	11 445	11 466	11 451	11 455	11 421	11 406	11 361	11 347	11 348	11 348	11 364
神 戸 市		533 202,997	547 204,816	547 197,763	539 191,845	541 189,825	538 189,565	540 188,843	540 188,095	538 188,412	532 184,997	530 182,978	526 182,549	528 182,241
東 播 磨	明 石 市	19 643	19 618	19 571	18 548	19 558	19 493	19 513	19 528	19 469	17 447	17 459	17 403	17 415
	三 木 市	3 36	3 34	2 38	2 35	2 34	2 34	2 34	2 33	2 33	2 35	2 36	2 36	2 35
	そ の 他	3 102	3 102	3 102	3 93	3 93	0 0	3 89	3 87	3 87	3 87	3 92	3 88	3 91
	計	5 138	5 138	5 135	5 120	5 119	5 99	5 96	5 96	5 83	5 82	4 68	4 68	4 61
淡 路	津 名 町	3 84	3 92	3 83	3 83	3 83	3 80	3 86	3 77	3 64	3 46	3 46	3 43	3 47
	北 淡 町	12 2,050	12 2,050	12 2,050	12 2,050	12 2,050	12 2,050	11 1,230	11 1,230	11 1,230	11 1,230	11 1,230	11 933	11 933
	一 宮 町	6 322	6 354	6 279	6 272	6 301	6 359	6 372	6 348	6 339	6 330	6 328	6 309	6 305
	五 色 町	4 9	4 9	4 9	4 9	5 11	5 11	5 11	5 13	5 13	5 13	5 13	6 16	6 15
	東 浦 町	9 125	9 125	9 125	9 125	9 125	9 125	8 122	8 122	8 102	8 102	8 102	8 102	8 102
	そ の 他 1市4町	2 2	3 3	3 3	2 2	1 1	1 1	0 0	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
	計	1,019 246,557	1,033 246,871	1,029 239,271	1,003 230,651	1,010 229,360	996 226,122	995 223,919	989 222,564	987 222,528	975 218,724	970 215,745	964 213,379	966 212,515
備 考	■ (2/7) 【地震後3週間経過】 ■ (2/9) ■ (2/4) ・断水世帯：32万戸 (23%) ・小中高校休校数 127校 ■ (2/12) 【降雨 (10mm)】 ・神戸市 第1次仮設住宅入居決定 ・断水世帯：23万戸 (16%) ■ (2/15) ・断水世帯 ：18万戸 (13%) ■ (2/15) ・小中高校休校数 36校													